



Cisco ボイスメール ポート ウィザード

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、[拡張機能 (Advanced Features)] > [ボイスメール (Voice Mail)] > [Cisco ボイスメールポートウィザード (Cisco Voice Mail Port Wizard)] メニューパスを使用して、ウィザード ツールによってボイスメール ポートを設定します。

オプションのソフトウェアである Cisco Unity または Cisco Unity Connection は、シスコ ユニファイド コミュニケーション ソリューションの一環として利用され、ユーザがコールに応答できないときに、ボイス メッセージ機能を提供します。この章では、ボイス メッセージ システムに対して、Cisco Unified Communications Manager で Cisco ボイスメール ポートの追加と設定を行うために必要な手順について説明します。

Cisco Unity を設定する方法については、『*Cisco Unified Communications Manager SCCP Integration Guide for Cisco Unity*』または『*Cisco Unified Communications Manager SIP Trunk Integration Guide for Cisco Unity*』を参照してください。

Cisco Unity Connection を設定する方法については、『*Cisco Unified Communications Manager SCCP Integration Guide for Cisco Unity Connection*』または『*Cisco Unified Communications Manager SIP Trunk Integration Guide for Cisco Unity Connection*』を参照してください。

ボイス メッセージと Cisco Unified Communications Manager との接続性の詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager システム ガイド*』の「[Cisco Unified Communications Manager へのボイスメールの接続性](#)」を参照してください。

Cisco ボイスメール ポート ウィザード ツールを使用すると、Cisco Unified Communications Manager 管理者は、Cisco ボイスメール サーバに関連付けられているポートを Cisco Unified Communications Manager データベースに迅速に追加および削除できます。次の項では、この手順について説明します。

この章では、次の構成情報について説明します。

- 「[新規の Cisco ボイスメール サーバとポートの追加](#)」 (P.59-1)
- 「[既存の Cisco ボイスメール サーバへのポートの追加](#)」 (P.59-7)
- 「[既存の Cisco ボイスメール サーバからのポートの削除](#)」 (P.59-8)
- 「[関連項目](#)」 (P.59-9)

新規の Cisco ボイスメール サーバとポートの追加

Cisco ボイスメール ポート ウィザードを使用して、新規の Cisco ボイスメール サーバとポートを Cisco Unified Communications Manager データベースに追加する手順は、次のとおりです。

GUI の使用方法

Cisco Unified Communications Manager の管理の Graphical User Interface (GUI; グラフィカル ユーザー インターフェイス) を使用方法については、「[Cisco Unified Communications Manager の管理アプリケーションでの操作](#)」(P.1-13) およびそのサブセクションを参照してください。GUI の使用方法とボタンおよびアイコンの機能の詳細が説明されています。

始める前に

Cisco ボイスメール ポート ウィザードには、ボイスメール ポート用の一連の連続した電話番号が必要です。ボイスメール パイロット番号とそれに続く番号が使用可能であることを確認します。

手順

ステップ 1 [拡張機能 (Advanced Features)] > [ボイスメール (Voice Mail)] > [Cisco ボイスメールポートウィザード (Cisco Voice Mail Port Wizard)] の順に選択します。

表示された画面で、次のいずれかのオプションを選択します。

- [新規 Cisco ボイスメールサーバの作成とポートの追加 (Create a new Cisco Voice Mail Server and add ports to it)]. [次へ (Next)] をクリックし、[ステップ 2](#) に進みます。
- [既存の Cisco ボイスメールサーバにポートを追加 (Add ports to an existing Cisco Voice Mail server)]. [次へ (Next)] をクリックし、「[既存の Cisco ボイスメール サーバへのポートの追加](#)」(P.59-7) に進みます。
- [既存の Cisco ボイスメールサーバからポートを削除 (Delete ports from an existing Cisco Voice Mail server)]. [次へ (Next)] をクリックし、「[既存の Cisco ボイスメール サーバからのポートの削除](#)」(P.59-8) に進みます。

ステップ 2 [新規の Cisco ボイスメールサーバに追加するポートの名前:(Add ports to a new Cisco Voice Mail Server using this name:)] に Cisco ボイスメール サーバの名前を入力します。

ステップ 3



(注) Cisco Unity では、この名前が CiscoUM-VI1 または Cisco UM-VI2 などの Unity Telephony Integration Manager (UTIM) の名前と一致する必要があります。Cisco Unity Connection では、この名前が Cisco UM-VI1 または Cisco UM-VI2 などの Cisco Unity Connection の管理と一致する必要があります。

ステップ 4 [次へ (Next)] をクリックします。

[Cisco ボイスメールポート (Cisco Voice Mail Ports)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 5 ドロップダウン リスト ボックスから、追加するポート数を選択します。

ステップ 6 [次へ (Next)] をクリックします。

[Cisco ボイスメールデバイス情報 (Cisco Voice Mail Device Information)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 7 適切な設定値を入力します (表 59-1 を参照)。これらの設定値がすべての新規ポートに適用されます。

表 59-1 ボイスメール ポート ウィザードのデバイス情報の設定値

フィールド	説明
[説明 (Description)]	デバイスの目的を入力します。
[デバイスプール (Device Pool)]	デフォルト値 [デフォルト (Default)] または定義されたデバイス プールを選択します。

表 59-1 ボイスメール ポート ウィザードのデバイス情報の設定値 (続き)

フィールド	説明
[共通デバイス設定 (Common Device Configuration)]	このデバイスを割り当てる共通デバイス設定を選択します。共通デバイス設定には、特定のユーザに関連付けられた属性 (サービスまたは機能) が含まれています。共通デバイス設定は、[共通デバイス設定 (Common Device Configuration)] ウィンドウで設定します。詳細については、「 共通デバイス設定 」を参照してください。
[コーリングサーチスペース (Calling Search Space)]	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、適切なコーリング サーチ スペースを選択します。コーリング サーチ スペースは、この電話番号からコールされる番号を見つけるために検索されるパーティションの集合から構成されます。</p> <p>Max List Box Items エンタープライズ パラメータを使用して、このドロップダウン リスト ボックスで表示するコーリング サーチ スペースの数を設定できます。Max List Box Items エンタープライズ パラメータで指定した数よりも多くのコーリング サーチ スペースが存在する場合、ドロップダウン リスト ボックスの横に [検索 (Find)] ボタンが表示されます。[検索 (Find)] ボタンをクリックして、[コーリングサーチスペースの検索と一覧表示 (Find and List Calling Search Spaces)] ウィンドウを表示します。コーリング サーチ スペース名を検索し、選択します (「コーリング サーチ スペースの設定値」 (P.41-1) を参照)。</p> <p>(注) リスト ボックスの最大項目を設定するには、[システム (System)] > [エンタープライズパラメータ (Enterprise Parameters)] の順に選択し、[CCMAdmin Parameters] を選択します。</p>
[AAR コーリングサーチスペース (AAR Calling Search Space)]	Automated Alternate Routing (AAR; 自動代替ルーティング) の実行時にデバイスが使用するコーリング サーチ スペースを選択します。AAR コーリング サーチ スペースは、帯域幅不足によってコールがブロックされないように、収集された (発信) 番号のルーティング方法を決定するために検索されるパーティションの集合を指定します。

表 59-1 ボイスメール ポート ウィザードのデバイス情報の設定値 (続き)

フィールド	説明
[ロケーション (Location)]	<p>ロケーションは、Call Admission Control (CAC; コール アドミッション制御) を中央集中型コール処理システムに実装する際に使用します。CAC では、ロケーション間のリンクを経由する際にオーディオ コールとビデオ コールで使用できる帯域幅を制限することにより、オーディオ品質とビデオの可用性を調整できます。ロケーションは、このロケーションとの間のコールに使用可能な帯域幅の合計を指定します。</p> <p>ドロップダウン リスト ボックスで、このポートに適切なロケーションを選択します。</p> <p>ロケーションに [Hub_None] を設定すると、そのロケーションの機能では、このポートが消費する帯域幅を把握しません。ロケーションに [Phantom] を設定すると、H.323 プロトコルまたは SIP を使用するクラスタ間トランクをまたいで CAC を正常に実行できるロケーションが指定されます。</p> <p>新しいロケーションを設定するには、[システム (System)] > [ロケーション (Location)] メニュー オプションの順に選択します。</p> <p>ロケーションの詳細については、「ロケーションの設定 (P.15-1)」を参照してください。クラスタ間トランクをまたがるロケーションベースの CAC については、『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「クラスタ間トランクでのロケーションに基づくコール アドミッション制御」を参照してください。</p>
[デバイスセキュリティ モード (Device Security Mode)]	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、ボイスメール サーバ ポートに適用するセキュリティ モードを選択します。ここに表示されるオプションは、データベースであらかじめ定義されています。デフォルト値は [-- 選択されていません --] です。</p> <p>ボイスメール サーバのセキュリティを設定する方法については、『Cisco Unified Communications Manager セキュリティ ガイド』を参照してください。</p>

ステップ 8 [次へ (Next)] をクリックします。

[Cisco ボイスメール電話番号 (Cisco Voice Mail Directory Numbers)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 9 新規 Cisco ボイスメール サーバの電話番号設定を入力します (表 59-2 を参照)。

表 59-2 ボイスメール ポート ウィザードの電話番号の設定値

フィールド	説明
[開始電話番号 (Beginning Directory Number)]	Cisco ボイスメール サーバにアクセスするためにコールする番号を入力します。新しいポートはそれぞれ、次に使用可能な電話番号を受け取ります。

表 59-2 ボイスメール ポート ウィザードの電話番号の設定値 (続き)

フィールド	説明
[パーティション (Partition)]	<p>この一連の電話番号が属するパーティションを選択します。パーティションを使用しない場合は、[なし (None)] を選択してください。パーティションを選択する場合は、そのパーティションを含むコーリング サーチ スペースを選択する必要があります。</p> <p>Max List Box Items エンタープライズ パラメータを使用して、このドロップダウン リスト ボックスで表示するパーティションの数を設定することができます。Max List Box Items エンタープライズ パラメータで指定した数よりも多くのパーティションが存在する場合、ドロップダウン リスト ボックスの横に [検索 (Find)] ボタンが表示されます。[検索 (Find)] ボタンをクリックして、[パーティションの検索と一覧表示 (Find and List Partitions)] ウィンドウを表示します。「パーティションの検索 (パーティションが多数ある場合)」(P.40-4) の手順に従って、パーティション名を検索し、選択します。</p> <p>(注) リスト ボックスの最大項目を設定するには、[システム (System)] > [エンタープライズパラメータ (Enterprise Parameters)] の順に選択し、[CCMAdmin Parameters] を選択します。</p>
[コーリングサーチスペース (Calling Search Space)]	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、適切なコーリング サーチ スペースを選択します。コーリング サーチ スペースは、この電話番号からコールされる番号を見つけるために検索されるパーティションの集合から構成されます。</p> <p>パーティションを選択する場合は、そのパーティションを含むコーリング サーチ スペースを選択する必要があります。</p> <p>Max List Box Items エンタープライズ パラメータを使用して、このドロップダウン リスト ボックスで表示するコーリング サーチ スペースの数を設定することができます。Max List Box Items エンタープライズ パラメータで指定した数よりも多くのコーリング サーチ スペースが存在する場合、ドロップダウン リスト ボックスの横に [検索 (Find)] ボタンが表示されます。[検索 (Find)] ボタンをクリックして、[コーリングサーチスペースの検索と一覧表示 (Find and List Calling Search Spaces)] ウィンドウを表示します。コーリング サーチ スペース名を検索し、選択します。「コーリング サーチ スペースの設定値」(P.41-1) を参照。</p> <p>(注) リスト ボックスの最大項目を設定するには、[システム (System)] > [エンタープライズパラメータ (Enterprise Parameters)] の順に選択し、[CCMAdmin Parameters] を選択します。</p>
[AAR グループ (AAR Group)]	<p>このデバイスの自動代替ルーティング (AAR) グループを選択します。AAR グループは、帯域幅不足のためにコールがブロックされないように、コールをルーティングするためのプレフィックス番号を提供します。AAR グループ設定を [なし (None)] にすると、ブロックされたコールの再ルーティングは行われません。</p>
[内線発信者 ID 表示 (Internal Caller ID Display)]	<p>この回線へのコールが行われるときに、発信側の電話機に表示されるテキストを指定します。</p>
[内線発信者 ID 表示 (Internal Caller ID Display、ASCII 形式)]	<p>この回線へのコールが行われるときに、発信側の電話機に表示されるテキストを ASCII 形式で指定します。</p>

表 59-2 ボイスメール ポート ウィザードの電話番号の設定値 (続き)

フィールド	説明
[外線番号マスク (External Number Mask)]	外部 (発信) コールに対して、発信者 ID 情報をフォーマットするのに使用するマスクを指定します。このマスクには、最長 50 文字までを指定できます。発信者 ID 情報に表示する数字列を入力します。デバイスの電話番号を表すには、X を使用します。 国際的なエスケープ文字 + も入力することができます。

ステップ 10 [次へ(Next)] をクリックします。

これらの電話番号を回線グループに追加するかどうかをたずねるウィンドウが表示されます。

ステップ 11 次の作業のいずれかを選択します。

- 電話番号を新規回線グループに追加する場合、**ステップ 12** に進みます。
- 電話番号を既存の回線グループに追加する場合、**ステップ 14** に進みます。
- 電話番号を回線グループに後で追加する場合、**ステップ 16** に進みます。

ステップ 12 [はい。新規の回線グループに電話番号を追加します。(Yes. Add directory numbers to a new Line Group.)] オプションを選択し、[次へ(Next)] をクリックします。

ステップ 13 [回線グループ (Line Group)] ウィンドウに新規回線グループの名前を入力し、[次へ(Next)] をクリックします。

[Cisco ボイスメールポートを追加する準備ができました (Ready to Add Cisco Voice Mail Ports)] という要約ウィンドウが表示されます。以前のウィンドウで設定した設定値が要約ウィンドウに表示されません。Cisco ボイスメール ポート ウィザードは、自動的に正しい値を各ポートに割り当てます。

ステップ 17 に進みます。

ステップ 14 [はい。既存の回線グループに電話番号を追加します。(Yes. Add directory numbers to an existing Line Group.)] オプションを選択し、[次へ(Next)] をクリックします。

ステップ 15 [回線グループ (Line Group)] ウィンドウで、[回線グループ名 (Line Group Name)] ドロップダウン リスト ボックスから回線グループを選択し、[次へ(Next)] をクリックします。

[Cisco ボイスメールポートを追加する準備ができました (Ready to Add Cisco Voice Mail Ports)] という要約ウィンドウが表示されます。以前のウィンドウで設定した設定値が要約ウィンドウに表示されません。Cisco ボイスメール ポート ウィザードは、自動的に正しい値を各ポートに割り当てます。

ステップ 17 に進みます。

ステップ 16 [いいえ。後から追加します。(No. I will add them later.)] オプションを選択し、[次へ(Next)] をクリックします。

[Cisco ボイスメールポートを追加する準備ができました (Ready to Add Cisco Voice Mail Ports)] という要約ウィンドウが表示されます。以前のウィンドウで設定した設定値が要約ウィンドウに表示されません。Cisco ボイスメール ポート ウィザードは、自動的に正しい値を各ポートに割り当てます。

ステップ 17 この情報が正しい場合は、[終了 (Finish)] をクリックして、新しいポートを追加します。

表示された情報に誤りがある場合は、[戻る (Back)] ボタンをクリックして、その情報を編集します。または [キャンセル (Cancel)] をクリックして、ポートを追加せずに終了します。

ステップ 18 Cisco ボイスメール ポート ウィザードが指定した新規ボイスメール ポートの追加を終了した後に、[Cisco ボイスメールポートウィザードの結果 (Cisco Voice Mail Port Wizard Results)] ウィンドウが表示されます。

このウィンドウによって、これらの新規ボイスメール ポートを使用する前に完了しなければならないその他のステップがわかります。

次の作業

- メッセージ受信のインジケータ (MWI) デバイスをセットアップしたことを確認してください。詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager システム ガイド*』の「[Cisco Unity と Cisco Unity Connection の設定チェックリスト](#)」を参照してください。

追加情報

「[関連項目](#)」(P.59-9) を参照してください。

既存の Cisco ボイスメール サーバへのポートの追加

Cisco ボイスメール ポート ウィザードを使用して、ポートを既存の Cisco ボイスメール サーバに追加する手順は、次のとおりです。

始める前に

Cisco ボイスメール ポート ウィザードには、ボイスメール ポート用の一連の連続した電話番号が必要です。ボイスメール パイロット番号とそれに続く番号が使用可能であることを確認します。

ボイスメール パイロット番号は、Cisco ボイスメール サーバにアクセスするためにコールする番号を示します。

手順

- ステップ 1** [拡張機能 (Advanced Features)] > [ボイスメール (Voice Mail)] > [Cisco ボイスメールポートウィザード (Cisco Voice Mail Port Wizard)] の順に選択します。
- ステップ 2** [既存の Cisco ボイスメールサーバにポートを追加 (Add ports to an existing Cisco Voice Mail server)] を選択します。
- ステップ 3** [次へ (Next)] をクリックします。
[Cisco ボイスメールサーバ (Cisco Voice Mail Server)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 4** ドロップダウン リスト ボックスから、既存の Cisco ボイスメール サーバ (パイロット番号) の名前を選択し、[次へ (Next)] をクリックします。
[Cisco ボイスメールポート (Cisco Voice Mail Ports)] ウィンドウが表示され、現在設定されているポート数が示されます。
- ステップ 5** ドロップダウン リスト ボックスから、追加するポート数を選択し、[次へ (Next)] をクリックします。
[Cisco ボイスメール電話番号 (Cisco Voice Mail Directory Numbers)] ウィンドウでは、Cisco ボイスメール サーバへ追加したポートの設定情報を表示します。最後のポートに続く連続した電話番号が自動的に選択されます。また、Cisco ボイスメール パイロット電話番号と同じ [パーティション (Partition)] 設定値、[コーリングサーチスペース (Calling Search Space)] 設定値、表示に関する設定値、[AAR グループ (AAR Group)] 設定値、[外線番号マスク (External Number Mask)] 設定値が使用されます。[新規電話番号の開始 (New Directory Numbers Start at)] フィールドに、別の範囲の電話番号を入力することができます。
- ステップ 6** ポート数を変更する必要がある場合は、[戻る (Back)] ボタンをクリックします。

ステップ 7 [次へ (Next)] をクリックします。

[Cisco ボイスメールポートを追加する準備ができました (Ready to Add Cisco Voice Mail Ports)] という要約ウィンドウが表示されます。以前のウィンドウで設定した設定値が要約ウィンドウに表示されません。Cisco ボイスメール ポート ウィザードは、自動的に正しい値を各ポートに割り当てます。

ステップ 8 この情報が正しい場合は、[終了 (Finish)] をクリックして、新しいポートを追加します。

表示された情報に誤りがある場合は、[戻る (Back)] ボタンをクリックして、その情報を編集します。または [キャンセル (Cancel)] をクリックして、ポートを追加せずに終了します。

追加情報

「[関連項目](#)」(P.59-9) を参照してください。

既存の Cisco ボイスメール サーバからのポートの削除

Cisco ボイスメール ポート ウィザードを使用して既存の Cisco ボイスメール サーバからポートを削除する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 [拡張機能 (Advanced Features)] > [ボイスメール (Voice Mail)] > [Cisco ボイスメールポートウィザード (Cisco Voice Mail Port Wizard)] の順に選択します。

ステップ 2 [既存の Cisco ボイスメールサーバからポートを削除 (Delete ports from an existing Cisco Voice Mail server)] を選択し、[次へ (Next)] をクリックします。

[Cisco ボイスメールサーバ (Cisco Voice Mail Server)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 ドロップダウン リスト ボックスから、既存の Cisco ボイスメール サーバ (パイロット番号) の名前を選択し、[次へ (Next)] をクリックします。

[Cisco ボイスメールポート (Cisco Voice Mail Ports)] ウィンドウが表示され、現在設定されているポート数を示します。

ステップ 4 ドロップダウン リスト ボックスから、削除するポート数を選択し、[次へ (Next)] をクリックします。

[Cisco ボイスメールポートを削除する準備ができました (Ready to Delete Cisco Voice Mail Ports)] という要約ウィンドウが表示されます。

削除するポートの情報が要約ウィンドウに表示されます。Cisco ボイスメール ポート ウィザードは、ポート番号と電話番号が連続するように自動的に更新します。

ステップ 5 この情報が正しい場合は、[終了 (Finish)] をクリックして、選択されたポートを削除します。

表示された情報に誤りがある場合は、[戻る (Back)] ボタンをクリックして、その情報を編集します。または [キャンセル (Cancel)] をクリックして、ポートを削除しないで終了します。

追加情報

「[関連項目](#)」(P.59-9) を参照してください。

関連項目

- 「Cisco ボイスメール ポート ウィザード」 (P.59-1)
- 「新規の Cisco ボイスメール サーバとポートの追加」 (P.59-1)
- 「既存の Cisco ボイスメール サーバへのポートの追加」 (P.59-7)
- 「既存の Cisco ボイスメール サーバからのポートの削除」 (P.59-8)
- 「メッセージ受信の設定」 (P.60-1)
- 『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「Cisco Unity と Cisco Unity Connection の設定チェックリスト」

